

2020年3月期 第2四半期 決算説明資料

2019年11月28日

文化シヤッター株式会社

目次

P1 2020年3月期 第2四半期の実績について

- P2 事業環境
- P3 業績
- P4 売上高および営業利益の増減要因
- P5 セグメント別売上高および営業利益
- P6 売上高の用途別セグメント別分析

P7 2020年3月期の見通しについて

- P8 事業環境予想
- P9 業績見通し
- P10 売上高および営業利益の増減要因
- P11 セグメント別状況

P12 重点施策の進捗状況について

- P13 基幹事業の拡大① シャッター事業の強化
- P14 基幹事業の拡大② ドア・パーティション事業の強化
- P15 注力事業の強化① エコ&防災事業の強化
- P16 注力事業の強化② メンテナンス事業の強化
- P17 注力事業の強化③ ロングライフ事業の強化
- P18 注力事業の強化④ 海外事業の強化

P19 トピックス

- P20 トピックス① 「ARCO(QLD) PTY LTD」を子会社化
- P21 トピックス② 新商品他

P22 参考資料

- P23 文化シャッターグループ概要
- P24 文化シャッターグループのセグメント別会社構成と海外事業展開
- P25 連結貸借対照表
- P26 連結キャッシュフロー計算書
- P27 シャッター関連製品の状況（単体）
（重量シャッター、軽量シャッター、窓シャッター）
- P28 建材関連製品の状況（単体）
（ドア、パーティション、エクステリア）
- P29 持続可能な社会の実現をめざして
～SDGsの理念と連動した事業を推進中～

2020年3月期 第2四半期の実績について

	2018年3月期上期		2019年3月期上期		2020年3月期上期	
	実績	伸率	実績	伸率	実績	伸率
民間企業設備投資 (兆円)	39.2	104.5%	40.7	103.8%	41.7	102.3%
新設住宅着工戸数 (万戸)	49.6	99.3%	49.1	98.9%	46.6	95.0%
非住宅着工床面積 (万㎡)	2,794	104.3%	2,696	96.5%	2,582	95.8%
工場	471	116.2%	564	119.7%	428	75.9%
倉庫	502	104.3%	426	84.8%	509	119.5%
医療・福祉	318	91.4%	241	75.7%	301	125.0%
店舗	305	93.1%	292	95.6%	232	79.7%
事務所	340	100.7%	331	97.3%	332	100.4%

2020年3月期上期の民間企業設備投資は速報値

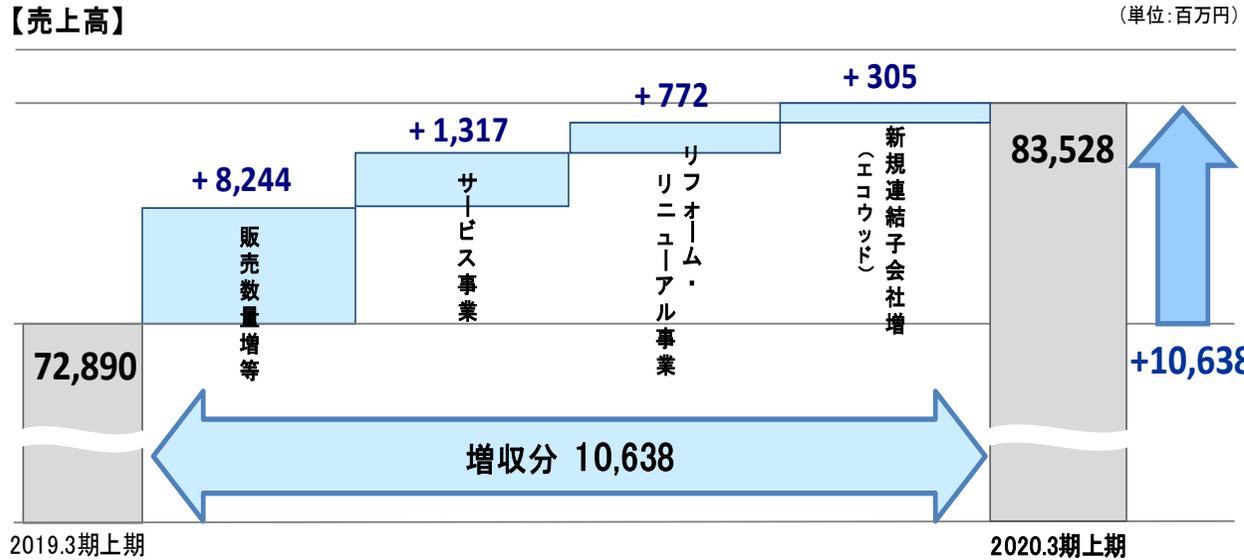
- ◆ 経済環境は、米中貿易摩擦や中東情勢等により不確実性が増し、依然として先行き不透明な状況で推移。
国内では、企業収益や雇用環境の改善などを背景に、景気は緩やかな回復基調が続いた。
- ◆ 民間企業設備投資(実質GDP)の速報値では、前年同期比102.3%の41兆円に拡大する模様。
新設住宅着工戸数は、前年同期比95.0%の46万6,000戸、非住宅着工床面積(建築確認申請時点)は、倉庫、医療・福祉、事務所が増加したものの、工場、店舗が減少したことで、前年同期比95.8%の2,582万㎡と、前年を下回った。

(単位:百万円)

	2019年3月期上期		2020年3月期上期				
	実績	売上比	期初予想	実績	売上比	伸率	予想比
売上高	72,890	100.0%	79,000	83,528	100.0%	114.6%	105.7%
売上原価	53,711	73.7%	59,000	61,686	73.9%	114.8%	104.6%
売上総利益	19,179	26.3%	20,000	21,842	26.1%	113.9%	109.2%
販売費及び一般管理費	17,467	24.0%	18,000	18,906	22.6%	108.2%	105.0%
営業利益	1,712	2.3%	2,000	2,935	3.5%	171.4%	146.8%
経常利益	1,736	2.4%	2,200	2,674	3.2%	154.0%	121.5%
当期純利益	934	1.3%	1,200	1,570	1.9%	168.2%	130.8%
1株当たり配当金	10円		12.5円	12.5円		-	-
設備投資額	1,770		-	2,093		118.2%	-
減価償却費	1,819		-	2,170		119.3%	-
期末 従業員 (人)	正社員	4,645	-	4,792		147	-
	臨時雇用者	1,165	-	1,220		55	-
	合計	5,810	-	6,012		202	-

- ◆ 「売上高」は、新規受注工事を含む手持工事の進捗が想定以上に進み、9期連続の増収で、過去最高売上。
- ◆ 「営業利益」は、減価償却費と取付工事費等が売上原価率を押し上げた一方で、好調なシャッター関連製品事業とサービス事業の売上増が寄与し、2期連続の増益。
- ◆ 「設備投資額」約21億円の主な内訳は、
 - ・設備の合理化・更新他で15億円
 - ・次期情報システムの開発費で約5億円
 - ・子会社の土地取得費で約1億円
- ◆ 「1株当たり配当金」は2.5円増配の12.5円。

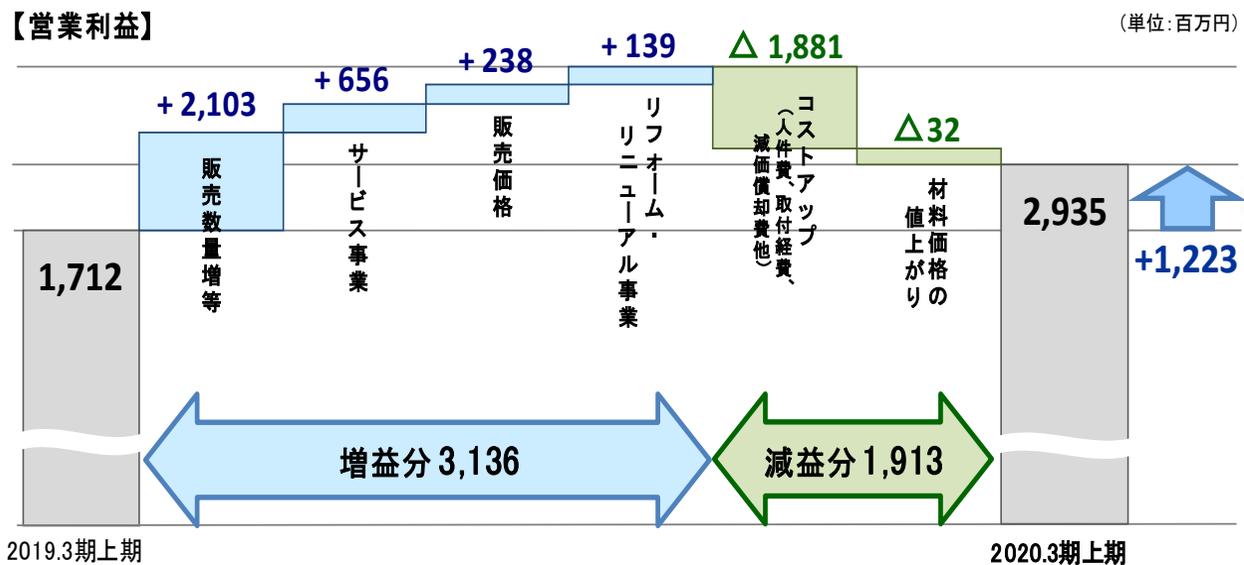
売上高および営業利益の増減要因



◆ 「売上高」の増減要因

主な増収要因として、「販売数量の増加」「サービス事業」が寄与。

トータルで106億3,800万円の「増収」。



◆ 「営業利益」の増減要因

主な増益要因として、「販売数量の増加」「サービス事業」が寄与。

主な減益要因は、人件費と取付経費および減価償却費の増加など「コストアップ」が影響。

トータルで12億2,300万円の「増益」。

セグメント別売上高および営業利益

(単位:百万円)

	2019年3月期上期		2020年3月期上期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
シャッター関連製品事業	26,405 (28,000)	2,251 (2,250)	31,245 (28,200)	2,733 (2,100)
伸率	113.1%	117.5%	118.3%	121.4%
増減	3,054	336	4,839	482
建材関連製品事業	31,744 (32,900)	△ 78 (400)	34,571 (34,300)	22 (200)
伸率	103.2%	-	108.9%	-
増減	974	△ 396	2,826	100
サービス事業	9,876 (9,500)	1,067 (800)	11,193 (10,950)	1,723 (1,200)
伸率	112.9%	149.1%	113.3%	161.5%
増減	1,126	352	1,317	656
リフォーム事業	3,081 (3,900)	△ 53 (80)	3,853 (3,550)	86 (20)
伸率	77.4%	-	125.0%	-
増減	△ 898	△ 122	772	139
その他事業	1,782 (1,900)	103 (120)	2,665 (2,000)	299 (120)
伸率	108.4%	103.4%	149.5%	288.5%
増減	138	3	882	195
配賦不能額	-	1,577 (1,650)	-	1,929 (1,640)
合計	72,890 (76,200)	1,712 (2,000)	83,528 (79,000)	2,935 (2,000)
伸率	106.4%	112.7%	114.6%	171.4%
増減	4,393	193	10,638	1,223

()は期初予想数字

- ◆ 全セグメント区分で「増収増益」を達成。
- ◆ 「シャッター関連製品事業」は、大型物流倉庫および工場、オフィスビル向けの重量シャッターが好調に推移したことにより、「増収増益」。
- ◆ 「建材関連製品事業」は、宿泊・公共施設、工場のドア群が好調に推移したことにより、「増収増益」。
- ◆ 「サービス事業」は、災害対応をはじめとするシャッターの修理売上と、法定点検を含めた保守点検契約が好調に推移したことにより、「増収増益」。
- ◆ 「リフォーム事業」は、ビルリニューアル事業およびBXゆとりリフォームによる住宅リフォーム事業が好調に推移したことにより、「増収増益」。
- ◆ 「その他事業」は、止水商品の売上が好調に推移したことなどにより、「増収増益」。

売上高の用途別セグメント別分析

(単位:億円)

製品・事業群		用途	合計	工場・倉庫	オフィスビル・公共施設	商業施設	医療福祉・学校	住宅その他
増収額			106.4	38.1	17.2	11.1	6.7	33.3
売上高			835.3	195.1	102.4	54.2	71.6	412.0
シャッター関連製品事業計	増収額		48.4	27.7	11.0	3.5	2.5	3.7
	売上高		312.5	120.5	27.7	21.4	9.7	133.2
軽量シャッター群	増収額		4.3	2.9	2.8	1.0	0.2	△ 2.6
	売上高		86.2	34.0	6.8	6.0	1.2	38.2
重量シャッター群(※)	増収額		35.9	21.0	5.9	1.3	2.0	5.7
	売上高		169.8	73.1	15.6	10.9	5.5	64.7
窓シャッター群	増収額		2.0	-	-	-	-	2.0
	売上高		25.2	-	-	-	-	25.2
シャッター関連群	増収額		6.2	3.8	2.3	1.2	0.3	△ 1.4
	売上高		31.3	13.4	5.3	4.5	3.0	5.1
建材関連製品事業計	増収額		28.3	7.6	1.1	3.0	1.7	14.9
	売上高		345.7	39.3	45.0	14.7	50.4	196.3
エクステリア群	増収額		2.7	-	-	-	-	2.7
	売上高		42.3	-	-	-	-	42.3
ドア・パーティション群	増収額		19.1	7.6	1.1	3.0	1.7	5.7
	売上高		209.0	39.3	45.0	14.7	50.4	59.6
その他建材製品群	増収額		6.5	-	-	-	-	6.5
	売上高		94.4	-	-	-	-	94.4
サービス事業計	増収額		13.2	1.3	4.8	0.5	2.4	4.2
	売上高		111.9	30.4	26.9	13.0	10.2	31.4
リフォーム事業計	増収額		7.7	-	-	-	-	7.7
	売上高		38.5	-	-	-	-	38.5
その他事業計	増収額		8.8	1.5	0.3	4.1	0.1	2.8
	売上高		26.7	4.9	2.8	5.1	1.3	12.6

- ◆ 増収額106億4,000万円を用途別で見ると、「工場・倉庫」「住宅その他」が牽引。
- ◆ 「工場・倉庫」向けは、シャッターおよび建材関連製品事業が牽引し、38億1,000万円の「増収」。
- ◆ 「オフィスビル・公共施設」向けは、シャッター関連製品事業とサービス事業が牽引し、17億2,000万円の「増収」。
- ◆ 「商業施設」向けは、シャッターおよび建材関連製品事業が牽引し、11億1,000万円の「増収」。
- ◆ 「医療福祉・学校」向けは、医療福祉向けのシャッター関連製品事業と、学校向けの建材関連製品事業が堅調に推移し、6億7,000万円の「増収」。
- ◆ 「住宅その他」向けは、建材関連製品事業とリフォーム事業が牽引し、33億3,000万円の「増収」。

※シャッター関連製品事業の「重量シャッター群」は、オーバースライディングドアと高速シートシャッター他を含む

2020年3月期の見通しについて

【事業環境】	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期	
	実績	伸率	実績	伸率	予想	伸率
民間企業設備投資 (兆円)	84.4	104.6%	87.3	103.5%	88.7	101.5%
新設住宅着工戸数 (万戸)	94.6	97.2%	95.2	100.7%	89.2	93.6%
非住宅着工床面積 (万㎡)	5,331	103.9%	5,101	95.7%	5,239	102.7%
工場	919	110.9%	1,009	109.8%	908	90.0%
倉庫	989	114.2%	876	88.6%	1,117	127.5%
医療・福祉	625	84.9%	517	82.8%	646	125.0%
店舗	553	98.5%	521	94.3%	493	94.6%
事務所	668	99.9%	608	91.1%	628	103.3%

民間企業設備投資、新設住宅着工床面積、非住宅着工床面積の予想値は、(一財)建設経済研究所のデータを参考に試算

【売上構成比】	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期上期
住宅向け	38.3%	40.4%	40.1%
非住宅向け	61.7%	59.6%	59.9%

- ◆ 経済環境は、米中貿易摩擦や中東情勢の緊張の高まり、英国のEU離脱問題等で、海外経済の不透明感がより一層高まるものと予想。
国内においては、企業収益の改善や設備投資の増加が見込まれるものの、景気は先行き不透明な状況が続くものと予想。
- ◆ 民間設備投資(実質GDP)は、前期比101.5%の88兆7,000億円を予想。
新設住宅着工戸数は、分譲戸建以外は着工数が減少する見通しにより、前期比93.6%の89万2,000戸を予想。
非住宅着工床面積は、前期比102.7%の5,239万㎡で推移すると予想。

(単位:百万円)

	2019年3月期				2020年3月期						
	上期実績	下期実績	通期実績	売上比	上期実績	下期予想	前年同期比	11月予想	売上比	前期比	
										伸率	増減
売上高	72,890	101,771	174,661	100.0%	83,528	106,472	104.6%	190,000	100.0%	108.8%	15,339
売上原価	53,711	74,863	128,574	73.6%	61,686	78,514	104.9%	140,200	73.8%	109.0%	11,626
売上総利益	19,179	26,908	46,087	26.4%	21,842	27,958	103.9%	49,800	26.2%	108.1%	3,713
販売費及び一般管理費	17,467	18,818	36,285	20.8%	18,906	19,894	105.7%	38,800	20.4%	106.9%	2,515
営業利益	1,712	8,089	9,801	5.6%	2,935	8,065	99.7%	11,000	5.8%	112.2%	1,199
経常利益	1,736	9,065	10,801	6.2%	2,674	8,826	97.4%	11,500	6.1%	106.5%	699
当期純利益	934	6,360	7,294	4.2%	1,570	6,030	94.8%	7,600	4.0%	104.2%	306
1株当たり配当金	10円	15円	25円		12.5円	12.5円		25円		-	-
設備投資額	1,770	1,485	3,255		2,093	-		4,000		-	745
減価償却費	1,819	2,148	3,967		2,170	-		4,500		-	533
期末従業員 (人)	正社員	4,645	-	4,639	4,792	-		4,780		-	141
	臨時雇用者	1,165	-	1,163	1,220	-		1,220		-	57
	合計	5,810	-	5,802	6,012	-		6,000		-	198

◆「売上高および営業利益」

東京オリンピック・パラリンピック関連施設や大型物流倉庫、再開発物件等の売上増とあわせて、台風に伴う災害対応の増加を見込み、売上高は153億3,900万円増の1,900億円、営業利益は11億9,900万円増の110億円を予想。

◆「設備投資額40億円の主な内訳」

- ・設備の合理化・更新他で33億円
- ・次期情報システムの開発費で7億円

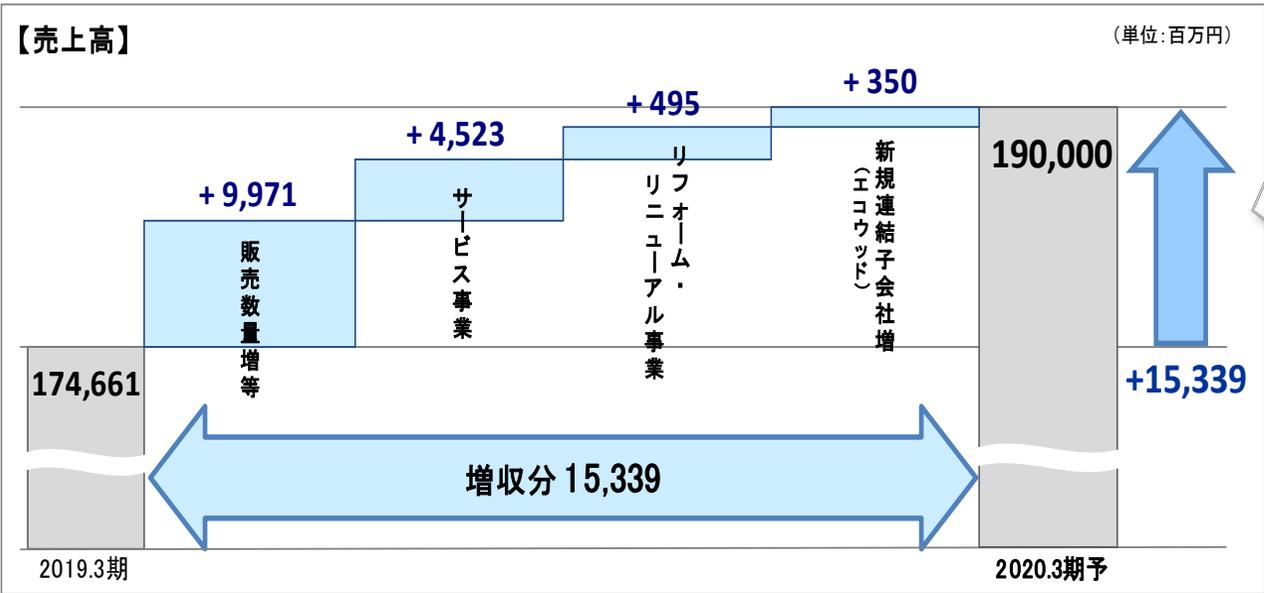
◆「1株当たり配当金」

上期12.5円、下期12.5円の通期25円を予定。



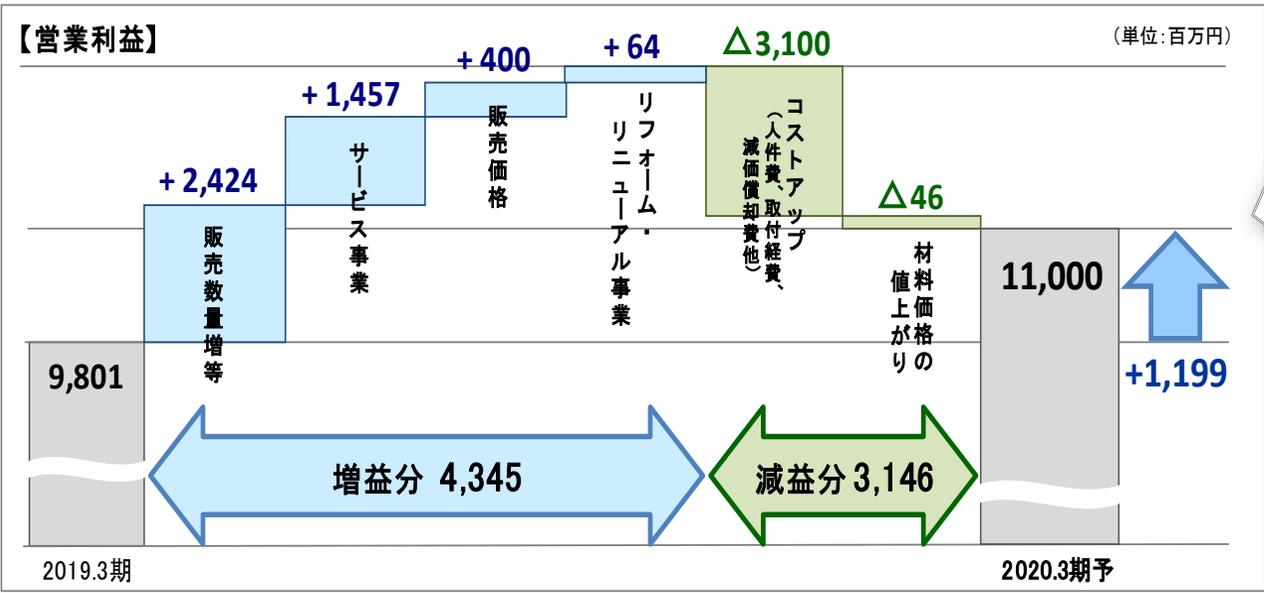
シャッター、ドア他の製品が採用されたナショナルトレーニングセンターイースト (9月竣工)

売上高および営業利益の増減要因



◆「売上高」の増減要因

主な増収要因として、「販売数量の増加」「サービス事業」が寄与。
トータルで153億3,900万円の「増収」を見込む。



◆「営業利益」の増減要因

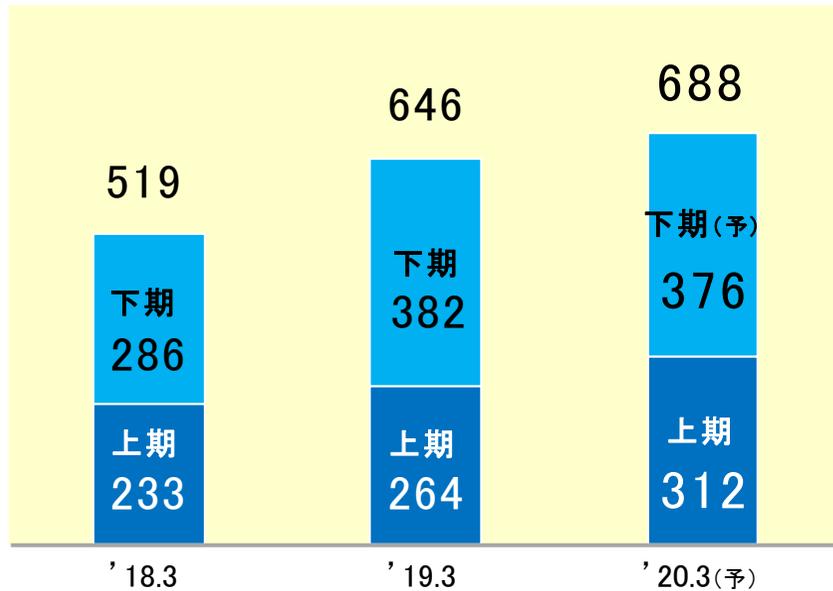
主な増益要因として、「販売数量の増加」「サービス事業」が寄与。
主な減益要因は、要員増と処遇改善に伴う給与手当など人件費の増加、取付経費の増加、減価償却費の増加による「コストアップ」など。
トータルで11億9,900万円の「増益」を見込む。

(単位:百万円)

【売上高】	2019年3月期						2020年3月期						
	上期実績			通期実績			上期実績			通期予想			
	伸率	増減		伸率	増減	伸率	増減		期初予想	11月予想	伸率	増減	
シャッター関連事業	26,405	113.1%	3,054	64,608	124.4%	12,685	31,245	118.3%	4,839	65,400	68,800	106.5%	4,192
建材関連事業	31,744	103.2%	974	75,551	105.1%	3,658	34,571	108.9%	2,826	77,600	80,250	106.2%	4,699
サービス事業	9,876	112.9%	1,126	23,477	119.1%	3,766	11,193	113.3%	1,317	26,500	28,000	119.3%	4,523
リフォーム事業	3,081	77.4%	△ 898	6,955	86.2%	△ 1,117	3,853	125.0%	772	7,450	7,450	107.1%	495
その他事業	1,782	108.4%	138	4,069	103.9%	152	2,665	149.5%	882	5,050	5,500	135.2%	1,431
合計	72,890	106.4%	4,393	174,661	112.3%	19,146	83,528	114.6%	10,638	182,000	190,000	108.8%	15,339
【営業利益】													
シャッター関連事業	2,251	117.5%	336	7,872	140.5%	2,267	2,733	121.4%	482	7,500	8,000	101.6%	128
建材関連事業	△ 78	-	△ 396	1,155	66.9%	△ 571	22	-	100	1,200	1,200	103.8%	45
サービス事業	1,067	149.1%	352	3,843	168.2%	1,558	1,723	161.5%	656	4,500	5,300	137.9%	1,457
リフォーム事業	△ 53	-	△ 122	86	41.7%	△ 121	86	-	139	100	150	173.5%	64
その他事業	103	103.4%	3	231	120.8%	39	299	288.5%	195	300	550	238.0%	319
配賦不能額	1,577	98.6%	△ 22	3,386	105.4%	172	1,929	122.3%	352	3,600	4,200	124.0%	814
合計	1,712	112.7%	193	9,801	144.1%	3,000	2,935	171.4%	1,223	10,000	11,000	112.2%	1,199
【受注残高】													
シャッター関連事業	26,958	124.6%	5,321	25,129	114.8%	3,246	26,742	99.2%	△ 216	25,000	25,500	101.5%	371
建材関連事業	44,518	106.0%	2,527	38,548	107.7%	2,742	45,006	101.1%	487	40,000	40,500	105.1%	1,952
サービス事業	3,542	148.4%	1,155	2,929	141.5%	858	3,715	104.9%	173	2,800	3,500	119.5%	571
リフォーム事業	1,489	111.8%	157	1,098	124.9%	219	960	64.5%	△ 529	1,300	1,100	100.2%	2
その他事業	1,290	124.7%	256	2,494	311.4%	1,693	2,792	216.4%	1,501	2,900	3,000	120.3%	506
合計	77,800	113.8%	9,417	70,201	114.3%	8,760	79,217	101.8%	1,417	72,000	73,600	104.8%	3,399
【受注高】													
シャッター関連事業	31,481	120.5%	5,349	67,854	123.5%	12,904	32,857	104.4%	1,376	65,270	69,170	101.9%	1,316
建材関連事業	40,457	104.5%	1,752	78,294	106.3%	4,652	41,028	101.4%	570	79,051	82,201	105.0%	3,907
サービス事業	11,347	120.6%	1,940	24,336	121.4%	4,284	11,980	105.6%	632	26,370	28,570	117.4%	4,234
リフォーム事業	3,691	93.4%	△ 262	7,174	94.5%	△ 419	3,715	100.6%	23	7,651	7,451	103.9%	277
その他事業	2,271	122.6%	418	5,762	148.1%	1,871	2,963	130.4%	691	5,455	6,005	104.2%	243
合計	89,250	111.5%	9,197	183,422	114.5%	23,293	92,544	103.7%	3,294	183,798	193,398	105.4%	9,976

重点施策の進捗状況について

「シャッター事業」売上高(億円)



◆シャッター事業(※1)

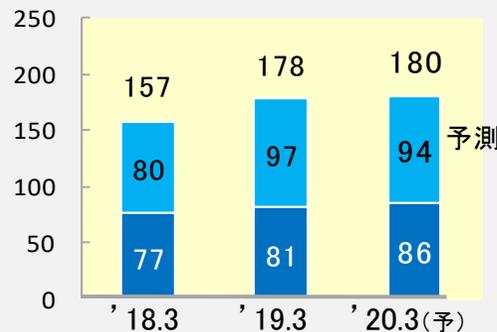
- ・上期は、大型物流倉庫やオフィスビル向けの重量シャッターが好調に推移した結果、売上高は前年同期比48億円増の312億円。
- ・通期は、東京オリンピック・パラリンピック関連施設や大型物流倉庫、再開発物件等の非住宅向けの需要増を背景に、売上高は前期比42億円増の688億円を見込む。

※1 シャッター事業は、セグメント区分の「シャッター関連製品事業」と同じ内容です。

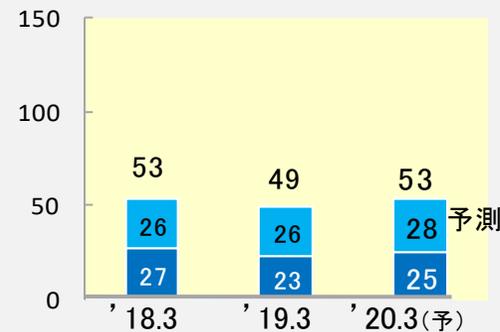
「重量シャッター群(※2)」売上高



「軽量シャッター群」売上高



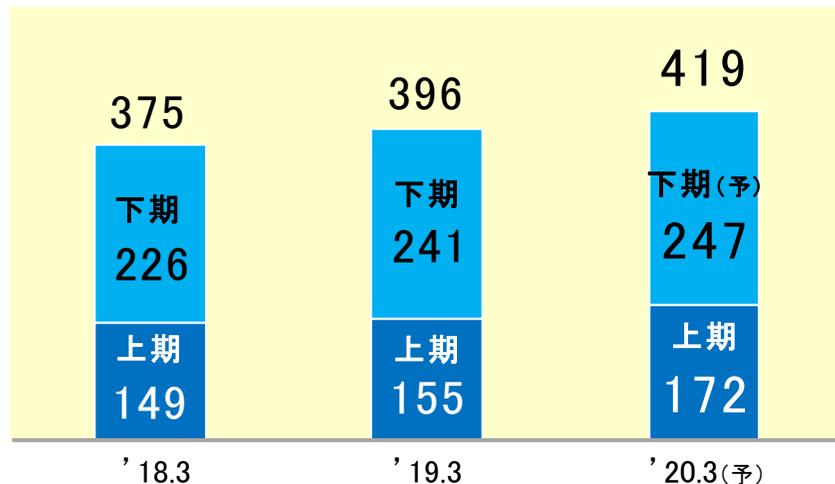
「窓シャッター群」売上高



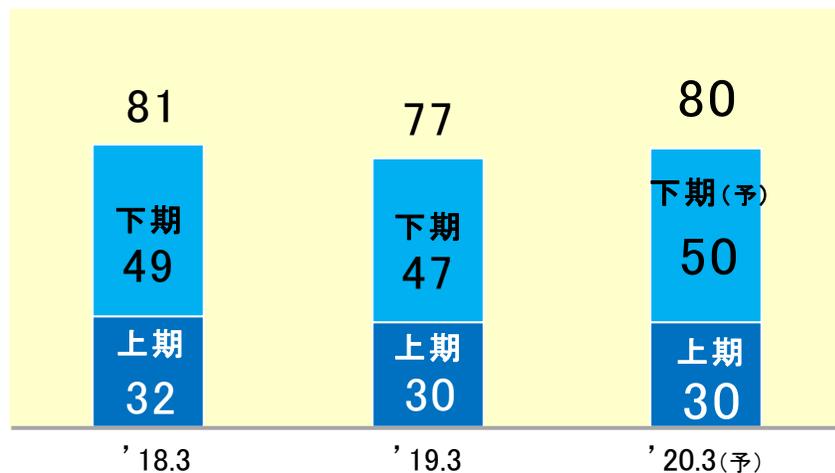
物流倉庫に採用された重量シャッターの施工事例

※2 重量シャッター群はオーバースライディングドアと高速シートシャッター他を含む

「ドア事業」売上高(億円)



「パーティション事業」売上高(億円)



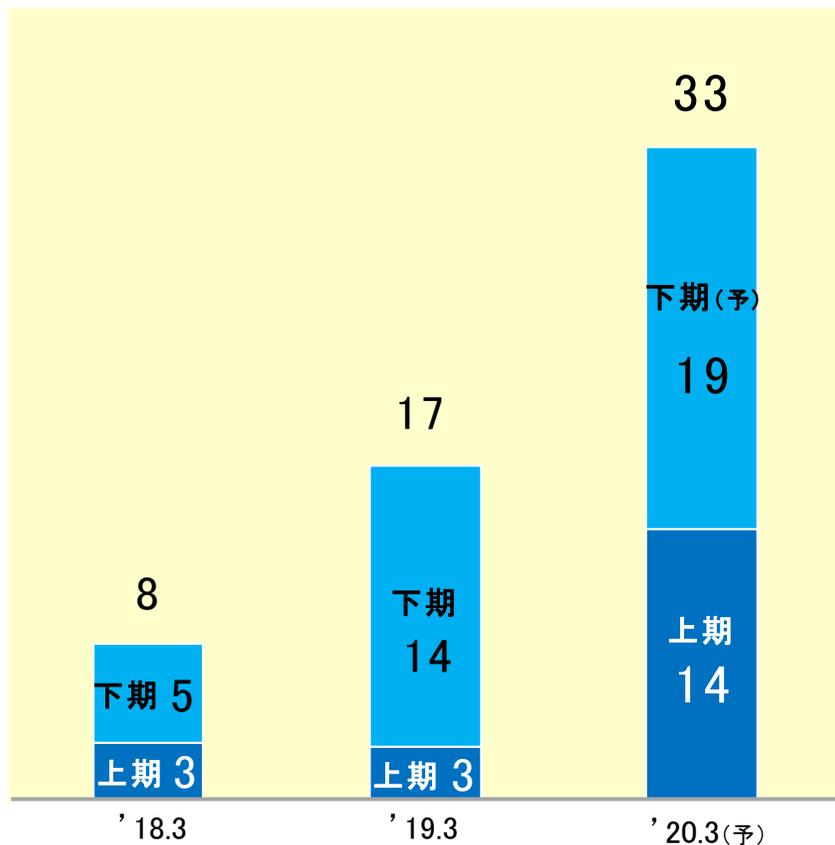
◆ドア事業

- ・上期は、主に宿泊・公共施設、工場向けのドア群が好調に推移した結果、売上高は前年同期比17億円増の172億円。
- ・通期は、東京オリンピック・パラリンピック関連施設や再開発物件等の需要増と、堅調な受注状況を背景に、売上高は前期比23億円増の419億円を見込む。
- ・ドア事業の利益率改善に向け、以下の施策に注力する。
 - ①接着工法で生産効率を高めた「ミドルドアSKD」の拡販(2015年東日本エリア、2018年西日本エリア発売開始)
 - ②安全性と生産性の向上に繋がるドア枠の無溶接工法「スマートアンカー」の採用(2019年対応開始)

◆パーティション事業

- ・上期の売上高は、前年同期比1.4%増の30億円。
- ・通期は、オフィスビル向けの拡販を推し進めることで、売上高は前期比3億円増の80億円を見込む。

「エコ&防災事業」売上高(億円)



◆エコ&防災事業

- ・上期は、好調に推移した止水事業(防災事業)と、連結対象とした(株)エコウッドとの連携による再生複合材「テクモク」の拡販により、売上高は前年同期比11億円増の14億円。
- ・通期は、引き続き(株)エコウッドとの連携を推し進めるとともに、多発する台風や豪雨などの自然災害への防災意識の高まりを受け、止水商品の積極的な提案による持続可能な社会への貢献を推し進める。

以上により、「エコ&防災事業」の売上高は前期比16億円増の33億円を見込む。

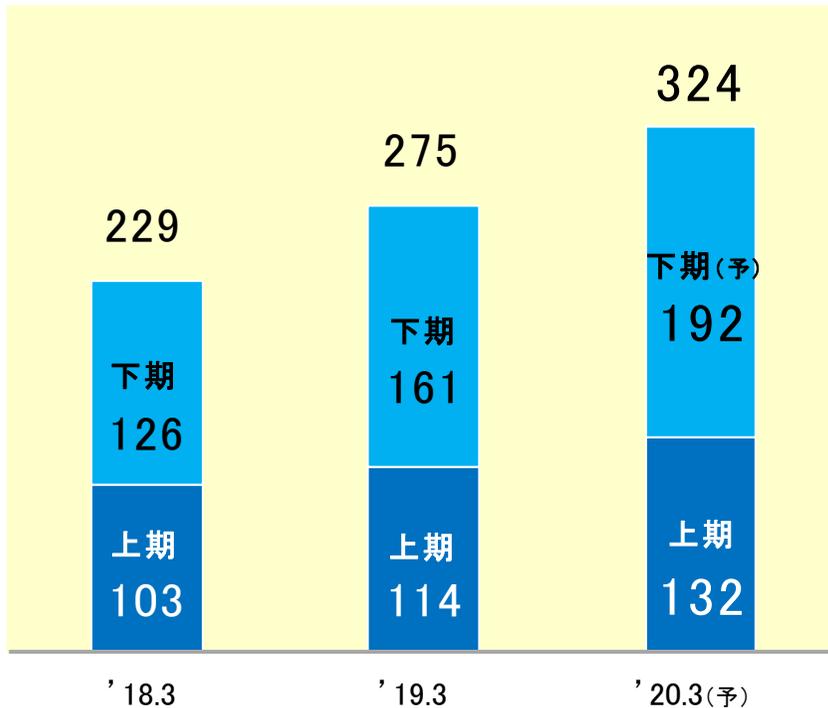


幼稚園のプールにデッキおよびフェンスとして採用された再生複合材「テクモク」



広島市役所に採用された「浮力起伏式止水板」

「メンテナンス事業」売上高(億円)



◆メンテナンス事業(※)

- ・上期は、台風による災害対応をはじめとする修理と、防火設備の法定点検に伴う売上げが寄与し、売上高は前年同期比18億円増の132億円。
- ・通期は、引き続き災害対応と、法定点検の対応強化を推し進めることで、売上高は前期比49億円増の324億円を見込む。

※メンテナンス事業は、修理・保守点検に伴う製品一式の取り替え分を反映させていることなどにより、セグメント区分の「サービス事業」とは差異が生じます。

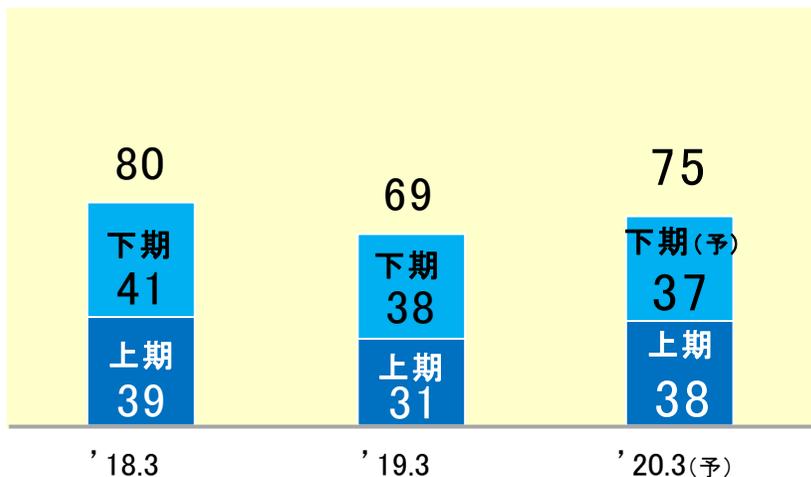


法定点検の詳細について
当社WEBページで解説



防火シャッターの法定点検イメージ

「ロングライフ事業」売上高(億円)



◆ロングライフ事業(※)

・上期は、住宅リフォーム事業については、首都圏を中心に事業を展開するBXゆとりリフォームが、販売単価のアップとリピート顧客の拡大により、増収増益(営業利益は5期ぶりの黒字)。

ビルリニューアル事業は、台風による災害対応も含めて受注が拡大。

以上により、ロングライフ事業の売上高は、前年同期比7億円増の38億円。

・通期は、住宅リフォーム事業については、「屋根リフォーム」「外壁塗装」「板金」を新たな注力テーマとして受注拡大を図る。

ビルリニューアル事業は、「耐震」と「浸水対策」をキーワードに、元請け対応を強化する。

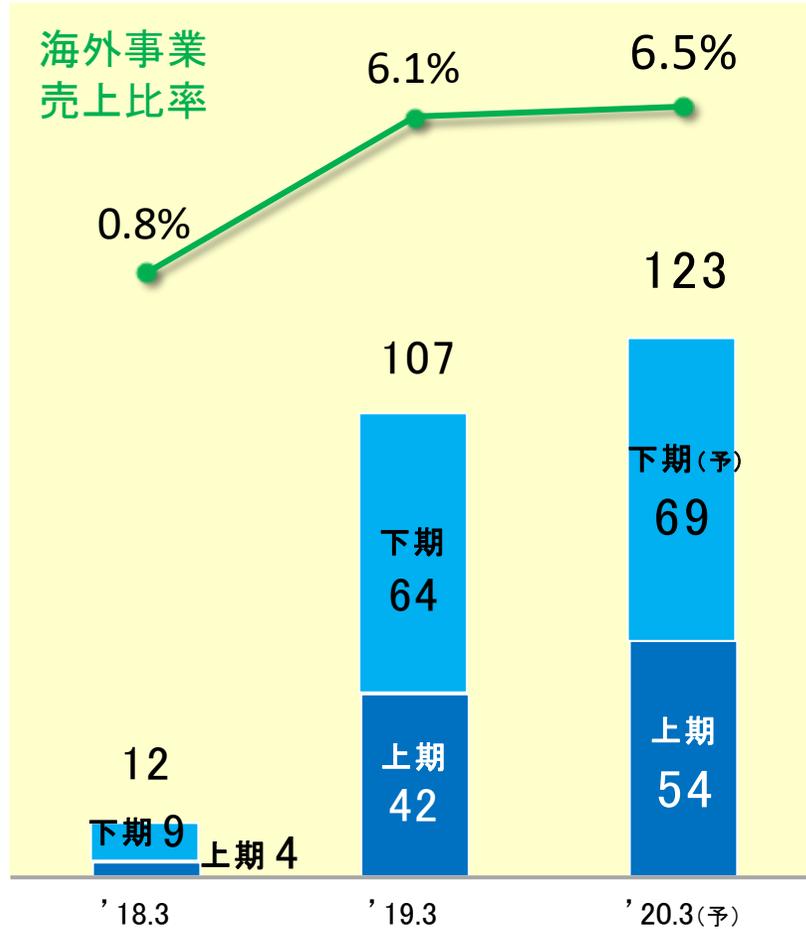
以上により、ロングライフ事業の売上高は、前期比6億円増の75億円を見込む。

※ロングライフ事業は、セグメント区分の「リフォーム事業」と同じ内容です。



2019年8月に開設した「屋根リフォーム」「外壁塗装」「板金」をテーマとしたBXゆとりリフォームのサイト

「海外事業」売上高(億円)



◆海外事業

- ・上期は、オセアニアの中心拠点であるオーストラリアにおいて、今年6月にBX BUNKA AUSTRALIAが産業・商業施設向けシャッターメーカー「ARCO(QLD)」の全株式を取得して子会社化したことも含め、売上高は前年同期比12億円増の54億円。

- ・通期は、ベトナムを中心としたASEANにおいて、樹脂サッシ最大手メーカーで持分法適用会社のEUROWINDOWとの連携強化により、受注拡大を図る。

オーストラリアでは、住宅向けのガレージドアに加えて、産業・商業施設向けの商材を含めたさらなる事業拡大を推し進める。

以上により、海外事業の売上高は前期比16億円増の123億円を見込む。



住宅向けガレージドアの採用事例
(オーストラリア)



産業施設向けシャッターの採用事例
(オーストラリア)

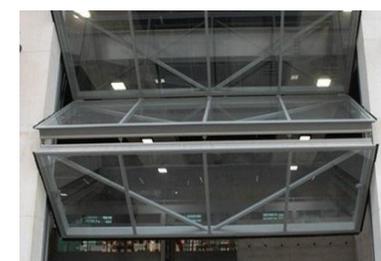
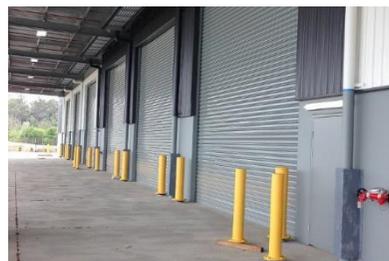
トピックス

◆ BX BUNKA AUSTRALIAが「ARCO(QLD) PTY LTD」の全株式を取得

BX BUNKA AUSTRALIAが6月3日付けで、オーストラリア国内において産業・商業施設向けシャッターを製造・販売する創業80年を誇る老舗メーカー「ARCO(QLD) PTY LTD」の全株式を取得。新たに産業・商業施設分野への参入を果たすと共に、今後、両社のシナジー効果を最大限発揮することで、オーストラリアにおける事業展開拡充を図る。



ARCOの工場外観(ブリスベン)



工場・倉庫や商業施設に採用されたARCO製シャッター他

◆新商品

押しボタン操作一つで止水機能を発揮
シャッタータイプの新たな浸水対策商品

止水高さ3mの
高水位タイプ

7月5日より
全国発売開始

止水高さ50cmの
低水位タイプ



止水パネルシャッター
「アクアフラット」

特許出願中

止水板付き重量シャッター
「アクアボトム」

<特徴>

- ・押しボタンによる簡単&スピード操作
- ・漏水量20リットル/(h・㎡)以下の高い止水性能
- ・多光軸センサをガイドレール内部に標準装備
- ・停電時もシャッターが全閉して止水機能を発揮する安心設計
- ・JIS規格(A4716)対応商品

IoT化した窓シャッター
「マドマスター・スマートタイプ」が
Google アシスタントと連携開始



11月より
連携開始

2018年9月からは
「Amazon Echo」との
連携をスタート

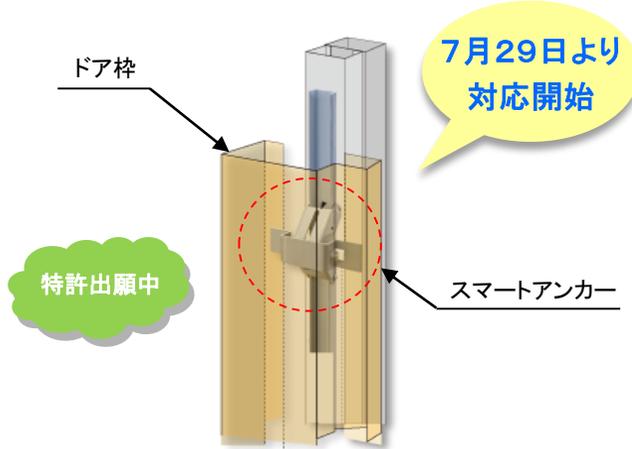
Google アシスタントに対応した
電動窓シャッター
「マドマスター・スマートタイプ」

<特徴>

- ・Google HomeなどGoogle アシスタント搭載のデバイスに対応
- ・忙しい朝や両手が塞がった状態でも、音声対話により窓シャッターを簡単に開閉

◆新工法

安全でスピーディーなドア枠無溶接工法
「スマートアンカー」工法を開発



7月29日より
対応開始

特許出願中

当社開き戸に対応する
「スマートアンカー」工法

<特徴>

- ・溶接を行わない工法のため、
 - ①安全かつ火災予防の各種工程が不要
 - ②1人での取り付け作業が可能
 - ③施工時間を約半分に短縮
- ・当社開き戸(一般スチールドア、ミドルドアSKD、鋼製軽量建具PDDア)に対応

參考資料

- 経営理念 「私たちは、常にお客様の立場に立って行動します」
「私たちは、優れた品質で社会の発展に貢献します」
「私たちは、積極性と和を重んじ日々前進します」
- 概 要 文化シャッター株式会社及び連結子会社26社(2019年11月現在)
- 事 業 シャッター事業、ビル建材事業、住宅建材事業、リフォーム事業、
リニューアル事業、保守・点検・サービス事業、他
- 拠 点 340営業拠点 129サービス拠点 32工場(2019年11月現在)
- 従業員数 4,792名(2019年9月末現在)

【文化シャッター株式会社(単体)】

代表者 代表取締役社長 執行役員社長 潮崎 敏彦

設 立 1955年(昭和30年)4月18日

資本金 15,051百万円

本 社 東京都文京区西片1-17-3

文化シャッター（株）

シャッター関連製品事業

「電動開閉機」製造・販売

BX新生精機（株）

「オーニング」製造・販売

BXテンパル（株）

「シャッター」製造・販売

BX沖縄文化シャッター（株）

「シャッター」販売

文化シャッター秋田販売（株）

文化シャッター高岡販売（株）

(※2)

建材関連製品事業

「ドア」「パーティション」製造

BX文化パネル（株）

「ドア」製造

BXケンセイ（株）

BX鐵矢（株）

BX東北鐵矢（株）

BX朝日建材（株）

BXルーテス（株）

「建築金物」製造・販売

BXカネシン（株）

「ドア」「スライディングウォール」製造・販売

BXティアール（株）

「ステンレス建材」製造・販売

BX紅雲（株）

「建築材料」製造・販売

BX西山鉄網（株）

「環境建材(再生複合材)」製造・販売

(株)エコウッド

サービス事業

「シャッター・ドア等の修理・点検」

文化シャッターサービス（株）

リフォーム事業

「住宅リフォームの設計・施工・請負」

BXゆとりリフォーム（株）

その他事業

「注文家具」製造・販売

BX文化工芸（株）

「損害保険代理業」

BXあいわ（株）

「建築構造設計」

BX TOSHO（株）

＜海外事業展開＞

「シャッター」「ドア」「オーニング」製造・販売

BX BUNKA VIETNAM Co.,Ltd.

「樹脂サッシ」「アルミサッシ」製造・販売

EUROWINDOW., JSC (※1)

(ベトナム)

「ガレージドア」「シャッター」製造・販売・施工・アフターメンテナンス

BX BUNKA AUSTRALIA PTY LTD

Steel-Line Garage Doors Australia

Steel-Line Installations Australia

Steel-Line Garage Doors (WA)

Dynamic Door Service

ARCO(QLD) PTY LTD

(オーストラリア)

＜その他＞

「ビル用サッシ他」製造・販売

不二サッシ（株）グループ

(※1)

※1 関連会社で持分法適用会社

※2 関連会社で持分法非適用会社

連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

	2019年3月期		2020年3月期上期		増	減 前期末比
		構成比		構成比		
流動資産	93,300	57.6	91,187	56.5	△ 2,113	97.7
現金・預金	24,308	15.0	24,810	15.4	502	102.1
受取手形・売掛金	46,356	28.6	37,792	23.4	△ 8,564	81.5
たな卸資産	18,896	11.7	23,519	14.6	4,623	124.5
その他	3,737	2.3	5,065	3.1	1,328	135.5
固定資産	68,784	42.4	70,324	43.5	1,540	102.2
土地	12,321	7.6	12,462	7.7	141	101.1
投資有価証券	18,301	11.3	17,815	11.0	△ 486	97.3
その他の投資・資産	2,575	1.6	2,532	1.6	△ 43	98.3
その他	35,587	21.9	37,515	23.2	1,928	105.4
資産合計	162,085	100.0	161,512	100.0	△ 573	99.6
流動負債	54,959	33.9	53,400	33.1	△ 1,559	97.2
支払手形・買掛金	33,363	20.6	31,998	19.8	△ 1,365	95.9
短期借入金	3,556	2.2	3,044	1.9	△ 512	85.6
その他	18,040	11.1	18,358	11.4	318	101.8
固定負債	32,946	20.3	34,004	21.0	1,058	103.2
轉換社債型新株予約権付社債	10,000	6.2	10,000	6.2	0	100.0
長期借入金	1,268	0.8	641	0.4	△ 627	50.6
退職給付に係る負債	18,881	11.6	19,019	11.7	138	100.7
その他	2,797	1.7	4,344	2.7	1,547	155.3
負債合計	87,905	54.2	87,405	54.1	△ 500	99.4
純資産合計	74,179	45.8	74,106	45.9	△ 73	99.9
負債・純資産合計	162,085	100.0	161,512	100.0	△ 573	99.6

1株当たり純資産

1,032円44銭

1,031円57銭

期末株価

802円

924円

PBR(株価純資産倍率)

0.78

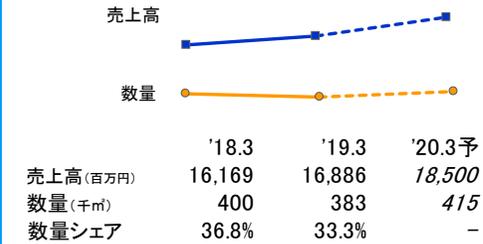
0.90

連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2019年3月期上期	2020年3月期上期	増減
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	6,327	5,077	△ 1,250
税金等調整前当期純利益	1,834	2,780	946
減価償却費	1,390	1,706	316
売上債権の増減額(△は増加)	12,044	8,679	△ 3,365
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 3,352	△ 1,359	1,993
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 4,735	△ 4,520	215
法人税等の支払額	△ 1,012	△ 2,784	△ 1,772
その他	158	575	417
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,351	△ 1,997	1,354
投資有価証券の取得による支出	△ 10	△ 10	0
有形固定資産の売却による収入	14	11	△ 3
有形固定資産の取得による支出	△ 1,665	△ 897	768
無形固定資産の取得による支出	△ 338	△ 665	△ 327
その他	△ 1,352	△ 436	916
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 642	△ 2,651	△ 2,009
短期借入金の純増減額(△は減少)	△ 8,502	△ 0	8,502
長期借入金の返済による支出	△ 1,125	△ 1,143	△ 18
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	9,969	-	△ 9,969
配当金の支払額	△ 717	△ 1,075	△ 358
その他	△ 267	△ 433	△ 166
4. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,178	413	△ 1,765
5. 現金及び現金同等物の期首残高	18,377	22,620	4,243
6. 現金及び現金同等物の期末残高	20,556	23,095	2,539

<重量シャッター>

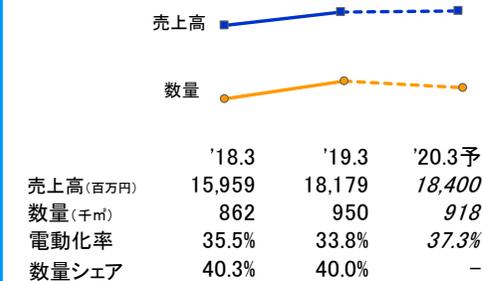


※数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比35.4%増。
- ◆ 20.3期の売上高は、前期比9.6%増の185億円を計画。

<軽量シャッター>

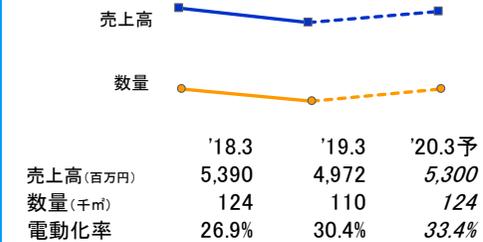


※数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比5.2%増。
- ◆ 20.3期の売上高は、前期比1.2%増の184億円を計画。

<窓シャッター>



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比8.6%増。
- ◆ 20.3期の売上高は、前期比6.6%増の53億円を計画。

<ドア>



年度	'18.3	'19.3	'20.3予
売上高(百万円)	35,376	35,085	37,500



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比10.4%増。
- ◆ 20.3期の売上高は、前期比6.9%増の375億円を計画。

<パーティション>



年度	'18.3	'19.3	'20.3予
売上高(百万円)	8,159	7,718	8,000



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比1.4%増。
- ◆ 20.3期の売上高は、前期比3.6%増の80億円を計画。

<エクステリア>



年度	'18.3	'19.3	'20.3予
売上高(百万円)	8,058	8,536	8,500

※横引雨戸を含めた金額で表示しています。



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比1.0%減。
- ◆ 20.3期の売上高は、前期比0.4%減の85億円を計画。

文化シャッターグループは、SDGsの理念と連動し、「エコ&防災」をキーワードとした事業を中心に、“持続可能な社会の実現”をめざす取り組みを継続して推し進めます！

SDGsの目標に合致するBXグループが進める事業の代表例

<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に当てはまる「テクモク」、BXテンパルのオーニング「エルバーネ」</p>	<h2>エコ事業</h2>
<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>「住み続けられるまちづくりを」に当てはまる「軽量シャッター」「窓シャッター」</p>	<h2>防災事業</h2>
<p>12 つくる責任つかう責任</p>	<p>「つくる責任つかう責任」に当てはまる文化シャッターサービスの修理・保守点検</p>	<h2>サービス事業</h2>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>「気候変動に具体的な対策を」に当てはまる止水商品の「止めピタ」「ラクセット」</p>	<h2>止水事業 (防災)</h2>

成長と共に

止水事業の推進に向けた取り組みの一例。写真は4種類の止水商品を出展した「2019防災産業展in東京」(2019年6月5日～7日・東京ビッグサイト)

社会と共に

被災地の産業支援と支援の環を広げる取り組みの一例。写真は「BXマルシェ東北うまいものフェア」(2019年10月11日・BXホール)

地球と共に

木材・プラスチック再生複合材「テクモク」とオーニングが採用された神奈川県中井パーキングエリアの商業施設

働く仲間と共に

人材育成を大切にする企業風土が受け継がれる中、様々な研修制度を実施。写真は海外派遣制度報告会(2019年2月14日・BXビル)

問い合わせ先

文化シャッター株式会社 経営企画部広報室 曾根、小林

TEL03-5844-7150 FAX03-5844-7141

E-mail bxinfo@mail.bunka-s.co.jp

<https://www.bunka-s.co.jp/>